

令和7年10月1日

関係各位

福井大学医学部附属病院
地域医療連携部 三嶋 一輝

第5回 HIV 感染症患者の療養支援に関する Ns と MSW の協働シンポジウム
開催のお知らせについて

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、昨年度に引き続き、医療体制整備班の研究事業活動の一環として、HIV 陽性者支援にかかわる看護師と医療ソーシャルワーカーの協働シンポジウムを開催することとなりました。

第5回は、PML の発症により告知と療養環境の調整が必要となった事例をもとに患者支援の工夫や連携の取り組みについて、両職種から報告いたします。

ご多用のところ、恐れ入りますが、貴施設の看護職、医療ソーシャルワーカーへのご案内をよろしくお願いいたします。

タイトル：「第5回 HIV 感染症患者の療養支援に関する Ns と MSW の協働シンポジウム
～エイズ治療拠点病院における支援体制の構築とケアの実際」

日時：2025 年 11 月 20 日（木）18 時から 19 時 10 分（70 分）

方法：オンライン（ZOOM）

主催：厚生労働行政推進調査事業費補助金 エイズ対策政策研究事業

HIV 感染症の医療体制の整備に関する研究

研究代表者：潟永博之（国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター）

研究分担者：三嶋一輝（福井大学医学部附属病院）「Ns との協働による要介護・要支援者に対する療養支援のネットワーク構築」

協力：研究分担者：大金美和（国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター）「ブロック内中核拠点病院間における相互交流による HIV 診療環境の相互評価と MSW と協働による要介護・要支援者に対する療養支援のネットワーク構築」

【問い合わせ先】

福井大学医学部附属病院
地域医療連携部 三嶋 一輝
電話：0776-61-8645

エイズ治療拠点病院における 支援体制の構築とケアの実際

HIV感染症患者の長期療養を支えるため、全国のエイズ治療拠点病院は地域連携を推進しています。エイズ予防指針にもHIV診療チームの看護師、医療ソーシャルワーカーには、地域や関係機関との連携力が求められており、その実現のために本シンポジウムは企画されました。

第5回は、**病気の打ち明けに関する意思決定や療養環境の調整を行った進行性多巣性白質脳症（PML）の事例**をもとに、患者の病状や生活に応じた連携の取り組みや課題について、両職種から報告いただきます。ぜひご参加ください。

日時：令和7年 **11月20日 木** 18:00～19:10

方法：ZOOMによるオンライン

定員：先着100名（事前申込制）

申込：<https://forms.gle/antu9SgcNYV6oZfy5>

締切：**11月13日 木 正午**

またはQRコード ▶

* 個人情報は運営管理の目的以外に使用しません。



対象：HIV診療に携わる
看護職と医療ソーシャルワーカー

プログラム

- 進行** **三嶋 一輝**（福井大学医学部附属病院 医療ソーシャルワーカー）
百田亜紀子（福井大学医学部附属病院 HIV専任看護師）
- 開会挨拶** **湊永 博之**「HIV感染症の医療体制の整備に関する研究」班 研究代表者
（国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター長）

シンポジウム

- 講演** **誰に病気を打ち明けるのか。PML患者の意思決定、
支援者の構築と生活再調整を行った協働支援**
- 谷口 紅**（国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター
HIVコーディネーターナース）
- 高橋 昌也**（同 医療社会事業専門員）

総合討論

情報提供

個人情報の提供の同意による薬害HIV感染者の個別支援

- 大金 美和**（国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター
患者支援調整職）

- 閉会挨拶** **三嶋 一輝**（福井大学医学部附属病院 医療ソーシャルワーカー）

主催

厚生労働行政推進調査事業費補助金エイズ対策政策研究事業
HIV感染症の医療体制整備に関する研究

研究分担者：三嶋一輝「Nsとの協働による要介護・要支援者に対する療養支援のネットワーク構築」

協力

研究分担者：大金美和「ブロック内中核拠点病院間における相互交流によるHIV診療環境の相互評価とMSWと協働による要介護・要支援者に対する療養支援のネットワーク構築」

後援

公益社団法人 日本医療ソーシャルワーカー協会

問い合わせ先

福井大学医学部附属病院 地域医療連携部 担当：三嶋一輝
TEL 0776-61-8645（平日 9:00-17:00）※当日連絡先 080-2966-7362